

ヨコハマ市民まち普請事業

第二次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備
提案グループ名	美しが丘アセス委員会遊歩道ワーキンググループ
整備場所の所在地 <small>（町名又は丁目まで記入）</small>	青葉区 美しが丘1～3 町・丁目
施設整備の概要	<p>①「たまプラ遺産」の認定プレート及び百段階段の「標高プレート」の製作・設置 住民参加により街なかの名物を「たまプラ遺産」として定め、認定プレート等を製作し現地に表示するとともに、当該情報等を含む「標高プレート」を製作し、百段階段の同じ標高位置に表示するなど、まち歩きを楽しむための情報提供を行う。</p> <p>②百段階段のカラーリングと安全対策（住民施工を想定） 「健康づくり歩行者ネットワーク事業」により階段部分の基本整備は行われる。これにカラーリング塗装及び踏面の滑り止め加工や段差注意の樹脂の取り付けなど、住民自らで行うことができる安全対策・メンテナンス活動を行う。</p> <p>③「健康づくり歩行者ネットワーク」のゲート空間整備 百段階段南端の太鼓橋（歩道橋）下について、現在、暗く雑草が生い茂っている空間の雑草を除去し、階段部と同様にコンクリートで階段状に整備するとともに、防犯対策の照明や侵入防止柵及び地域内外の多くの人に街を歩くきっかけやまちづくりのサポーター情報等を伝える情報看板（サイネージ）を整備する。</p>
整備助成金申請 予定額	500 万円
設計及び整備の スケジュール	4～7月 設計・詳細検討／たまプラ遺産選定作業 7～10月 歩道橋下空間整備／たまプラ遺産選定作業 11～12月 プレート作成ワークショップ 1～3月 階段色塗り/お披露目会/美しが丘小学校卒業式

2 創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 <small>（住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザイン）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発から50年を経た既存の公共施設（百段階段・遊歩道）の価値を見直し、付加価値をつけてリファインすることにより、「わざわざ歩きたくなる道」の実現を目指すものである。 ・美しが丘地区の遊歩道は住民の力で一般道路から歩行者専用道路への認定替えを実現するなど、歴代の住民まちづくりで保全されてきた路線であるが、経年劣化等により歩きにくさが顕在化しつつあった。使われない道は荒廃しやすいことがあるため、危険個所の改
---	---

への配慮)	<p>善や多くの人々が明るく楽しく歩ける道として整備することで、安心かつ魅力的な空間として再生する試み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このため、街なかに点在する「たまプラ遺産」の情報を「標高」の情報をキーに集約表示することで、百段階のシンボル性とまち歩き楽しさに気付くきっかけをつくる、AOBA+ARTの経験と実績に基づく独自性の高い提案である。 ・実現過程では、美しが丘小学校の子ども達など多くの人を巻き込みながら、コミュニティ活性化と次世代のまちづくりの担い手育成を意識的に進めるものである。 ・近隣住民やまち歩き活動を通じて得られた利用者目線の意見等を踏まえた計画となるよう留意した。(付属A3資料参照)
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書(第3号様式)」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・百段階のカラーリングは材料のみ購入し、施工は住民等により行うことで作業費の軽減を図る。 ・歩道橋下空間や案内タイルのデザインなどは地域に関わる人材を活かして行うことからデザイン料を軽減できる。 ・「たまプラ遺産」の選定やまち歩きツアーなどを通じて、地区内外にこの街の価値を見直すきっかけを提供し、この活動の応援・協力者との出会いなどにも期待する。また、活動を通じて百段階・遊歩道に関わる機会や人を増やすことで長期的な見守り体制づくりに向けた下地づくり(担い手の育成)を行う。
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道橋下空間や百段階のカラーリング・安全対策工事については、公共工事仕様に基づく工事を行いつつ、日常的な維持管理は住民が管理・メンテナンス可能な材料・工法を想定する。 ・健康づくり歩行者ネットワーク全体に対する維持管理体制の中心組織として、現在のワーキンググループ活動を基に「百段階プロジェクトワーキンググループ」を立上げる。 ・日常的な見守り点検体制の一環として、まち歩きツアーの継続的な開催と、活動を通じて発見された問題を通報する流れを整理・構築する。(付属A3資料参照)

3 実現性について

<p>地域(地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等)での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者である青葉土木事務所と計画段階から協議し、アドバイスをいただいております、整備後の住民による取組について行政との基本的な合意は得られている。 ・沿道住民等へは個別説明の機会を設けて基本的な方向性について了承が得られている。 ・中部自治会だけでなく健康づくりネットワーク検討に関わった連合自治会の検討メンバー等への説明も行い、整備に向けたアイデア・意見等を得ている
--	---

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集まり、小学校のイベント、自主的な街歩きツアー企画等を通じて、健康づくりネットワークの周知状況と、日ごろ感じている課題や整備に向けた意見をアンケートで収集(226名分)し、整備提案の基本的な考え方などに反映した。(付属A3資料参照) ・アンケートからは、安全で楽しく歩ける明るい遊歩道・階段空間とすることが求められている。また、歩道橋下空間は夜間は暗く危
---	--

<p>い貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第一次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>ないと敬遠されている箇所であり、これを明るく整備することで防犯性が高まり夜間の利用も可能になることが期待されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくり歩行者ネットワーク」ではパンフレットの全戸配布を行ったものの、その周知はアンケート結果からも不十分である（付属A3資料参照）。歩道橋下の整備が実現すれば、今後の継続的な周知活動を効果的に行うことができるようになる。
--	--

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>（材料の調達方法や施工業者への発注方法など）</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設を最大限生かしながら、行政が行う整備工事に多くの住民の取組みをプラスする話題性で効果的に認知性を高める。 ・活動メンバーにデザイナーがいるため、高品質のデザインを低コストで実現できる。 ・まち普請施工部分は住民がメンテナンスできる仕組みとすることによりランニングコストの低減を意識した。 ・今年度の青葉土木事務所発注の歩行者ネットワーク整備の施工業者と連携しながら、今年度のうちから実現に向けた検討を進めることも想定している。 ・企業マッチング会で協力関係となった塗料会社を通じて階段カラーリングに用いる特殊塗料についての情報が得られたとともに販売店を通さず直接資材を仕入れるルートが確保できた。
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険個所の解消や楽しく歩ける遊歩道の実現化により、百段階段を中心とした遊歩道の利用がより活性化されることが期待される ・特に、まち普請事業の準備期間に行った「まち歩きツアー」を通じて、テーマによって地区内外のさまざまな人材が集まることが再認識された。こうした人的交流を通じて、まち歩き参加者相互や住民間に新たなつながりを生み出すことができると考えている。 ・同じく準備期間を通じて小学校PTAや保護者から整備の賛同や人的なつながりが生まれ、連携体制が強化された。こうした活動が次世代の子供たちにもまちづくりの意識とこの町で育った記憶にとどまり、次世代の人材育成につながると考えている
---	--

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しが丘小学校の通学路に関する整備ということで、小学校PTA等との関わりが生まれ、これまで高齢者中心で進めてきた地区まちづくりに若い人加わるようになった。また、アート活動を通じて培われてきた地区外からの協力者が得られたことにより、新たなまちづくりテーマが生まれることにつながった。この提案は「整備された都市施設のその後」のまちづくりのあり方について一石を投じるものである。 ・住民だけで行う活動ではなく、横浜市が行政施策として行う「健康づくり歩行者ネットワーク事業」の施策効果を地元住民の働きかけでさらに魅力的なものとしようとする試みとしても他地区の提案事業と一線を画している。
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
1. 太鼓橋（歩道橋）下部空間等整備設計・たまプラ遺産選定等ワークショップ	設計費	一式	250,000	250,000	20人、2日程度
2. 太鼓橋（歩道橋）下部空間土木工事	工事費	一式	2,500,000	2,500,000	
3. 案内看板・照明等製作費	工事費	一式	700,000	700,000	
4. 標高パネル等製作費	工事費	一式	600,000	600,000	4人、1日
5. 階段塗装等工事費	工事費	一式	500,000	500,000	10人、4日程度
6. 2～5工事等監理	工事監理費	一式	150,000	150,000	
7. ワークショップ等資料作成	事務用品・資料印刷・会場使用料・記録費	一式	200,000	200,000	
8. コーディネーター協力依頼費用	コーディネーター謝礼	一式	100,000	100,000	
合 計				5,000,000	

■「百段階」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 位置図

提案整備総括表

整備対象場所 整備テーマ	活動区域全体	百段階	百段階南端 太鼓橋(歩道橋)下 空間
①「たまプラ遺産」の認定プレート及び百段階の「標高プレート」の製作・設置	提案整備①-1 →「たまプラ遺産」の認定プレート等の製作及び現地設置	提案整備①-2 →標高情報+「たまプラ遺産」を示す案内プレート等の製作及び設置	提案整備 →一部、①-1、①-2に同じ
②百段階のカラーリングと安全対策(住民施工を想定)	—	提案整備②-1 →段鼻の認知性向上及び滑り止め加工 提案整備②-2 →コンクリート階段部へのカラーリング及び踏面の滑り止め加工	提案整備 →一部、②-1、②-2に同じ
③「健康づくり歩行者ネットワーク」のゲート空間整備	—	提案整備 →一部、③-1、③-2に同じ	提案整備③-1 →法面の階段状整備 提案整備③-2 →サインージ(照明機能付き)・侵入防止柵の製作及び設置
〈参考〉横浜市「健康づくり歩行者ネットワーク事業」による基本整備	案内サイン3・誘導サイン47・ベンチ1・健康遊具2・路面整備5路線	路面整備 (コンクリート平板ブロック交換等)	

整備イメージ概要

①「たまプラ遺産」の認定プレート及び百段階階段の「標高プレート」の製作・設置



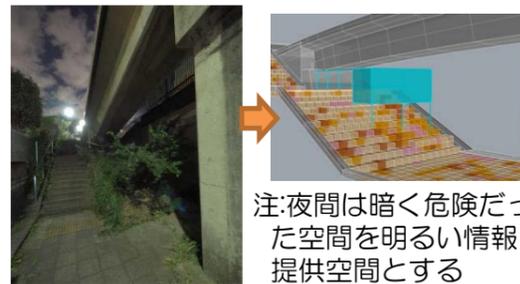
注:「たまプラ遺産」の選定・表示方法は住民ワークショップ等により意見収集を行う
注:「標高プレート」の記載内容・デザイン・現場施工は住民参加で検討する

②百段階のカラーリングと安全対策(住民施工を想定)



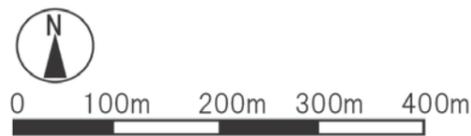
注:カラーリングはローラー等を用いて塗装する
注:安全対策は階段の段差視認性を向上のための樹脂インク塗布や踏面滑り止め加工を想定する

③「健康づくり歩行者ネットワーク」のゲート空間整備



注:夜間は暗く危険だった空間を明るい情報提供空間とする

【整備位置図】





□ コンクリート平板ブロックへのカラーリングイメージ

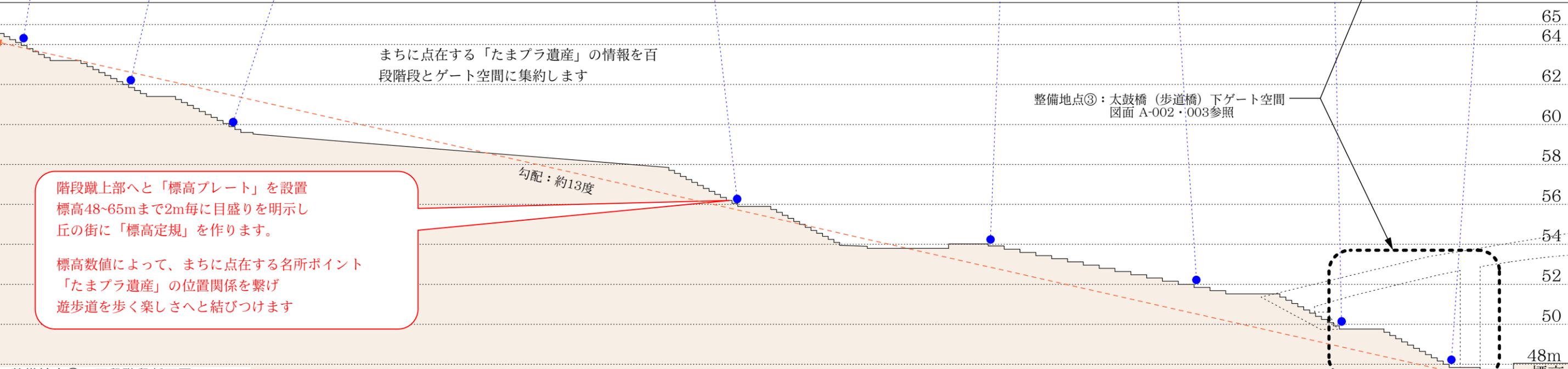
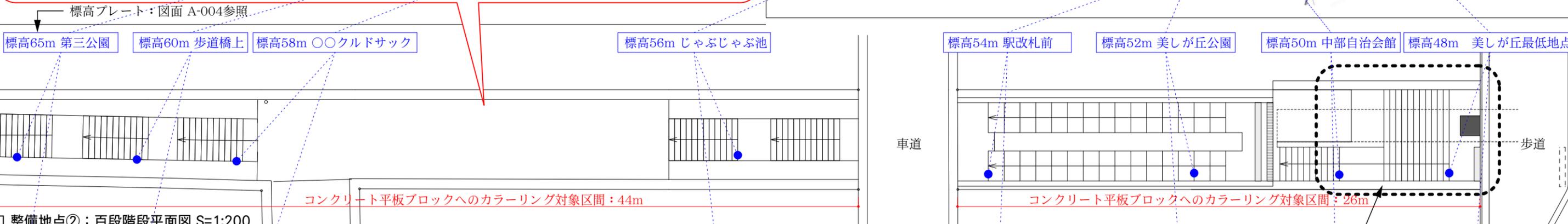
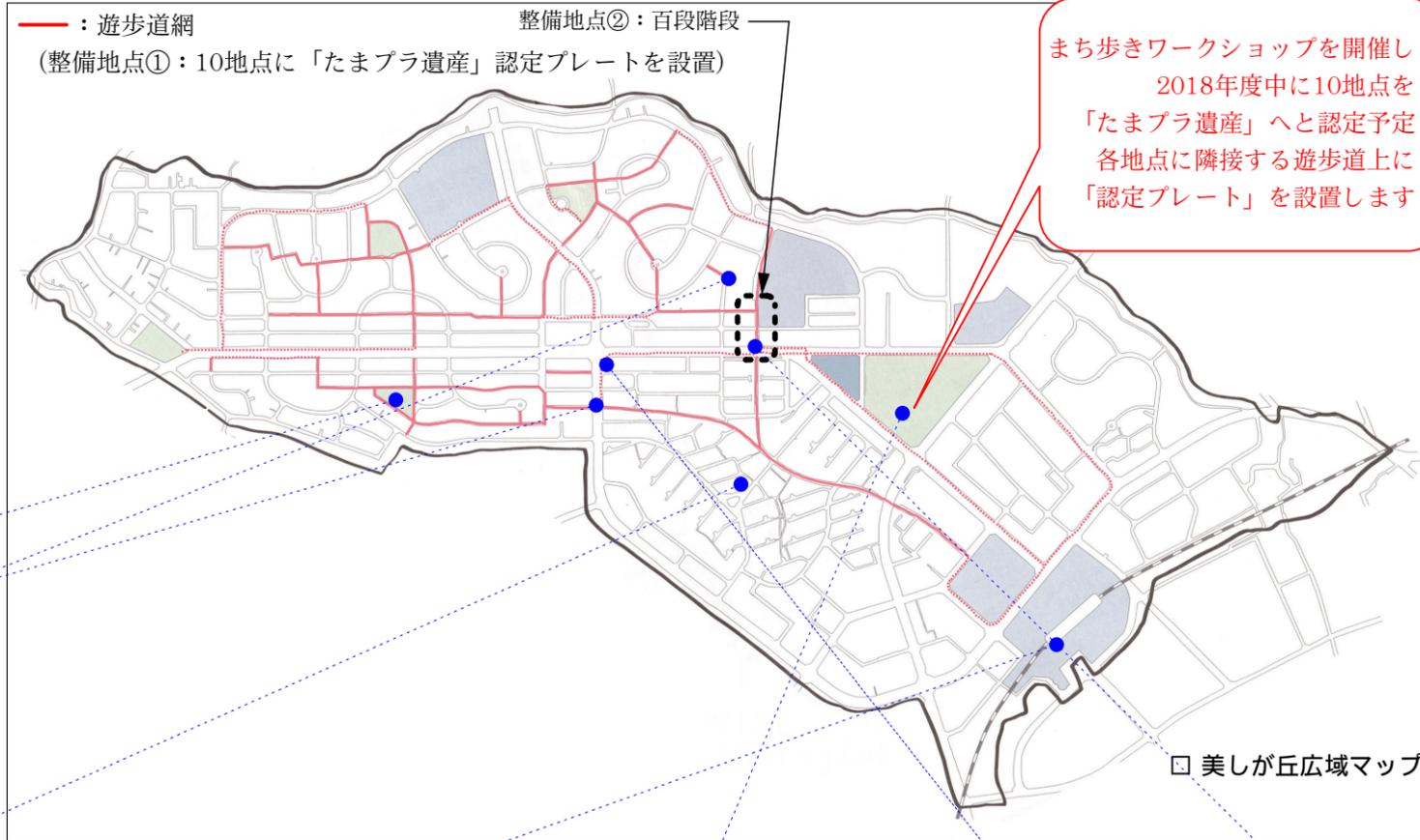
路面塗装候補塗料
(耐久性・施工性・仕上効果などを検証し決定する)

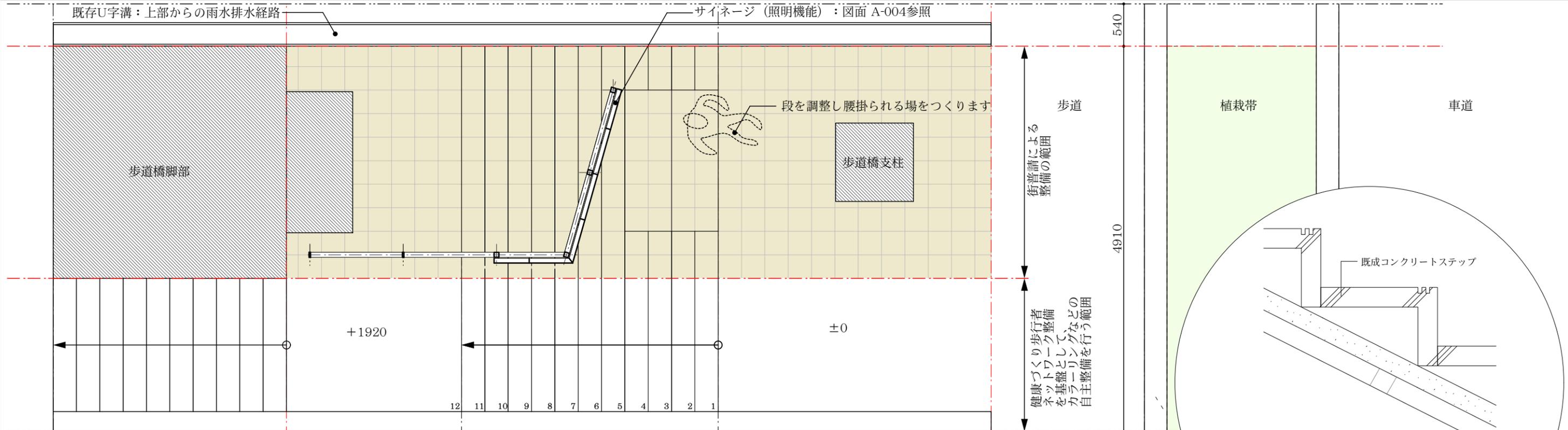
- ・アクアカラー：アッシュフォードジャパン
- ・アクリシラップ：菱見
- ・トラフィックペイント ハイライン：太洋塗料

「健康づくり歩行者ネットワーク」対象のルートは、青葉区土木事業（2017年度終了）にて基本的な修復工事が実施されるが、遊歩道網の保全・管理を担っていく住民意識を次世代へと継承していくことが急務である。本提案では、遊歩道網の中心的な位置づけである「百段階段」を、より安全で表情豊かな階段へと住民が自ら追加整備することで、地域愛を育てる機会としたい。

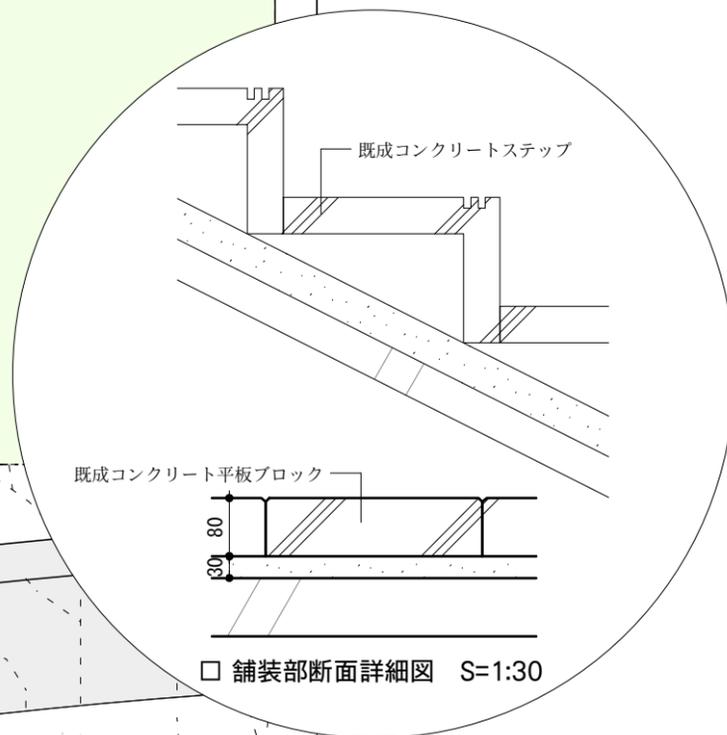
住民による追加整備

- ・踏面の溝に樹脂インクを流し段鼻を明瞭化
→ 踏み外しを防止
- ・滑り止め効果のあるガラスパウダーを塗布
→ 雨天時の滑り落ちを防ぐ
- ・浸透型塗装によってカラーリングを行う
→ 塗装面積：270㎡を住民参加ワークショップにて塗装
歩く楽しさの演出・路面保護
- ・標高プレートを設置
→ 丘の街全体を俯瞰し、遊歩道網を地域資産として
大事にしていく意識向上
- ・「たまプラ遺産」の選定とマップ製作
→ 名所を選定。所在地情報を百段階段へと集約
丘の街を歩く楽しさへと繋げ、地域愛を育成する

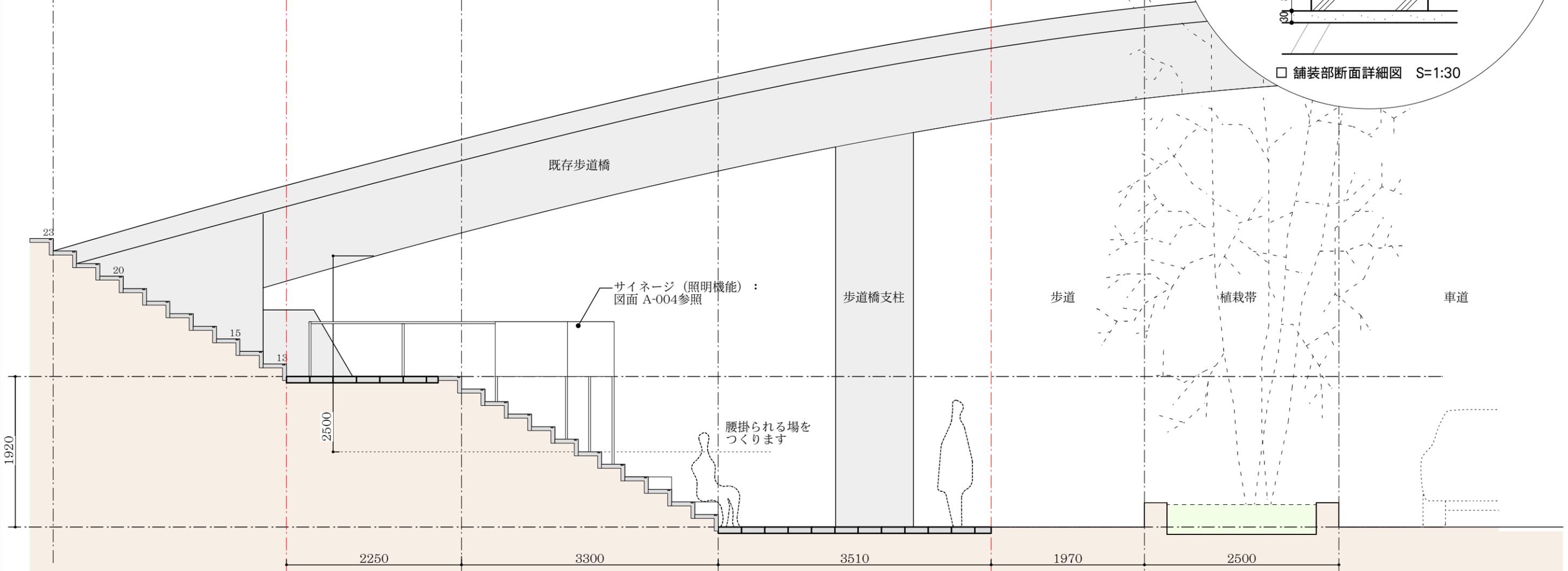




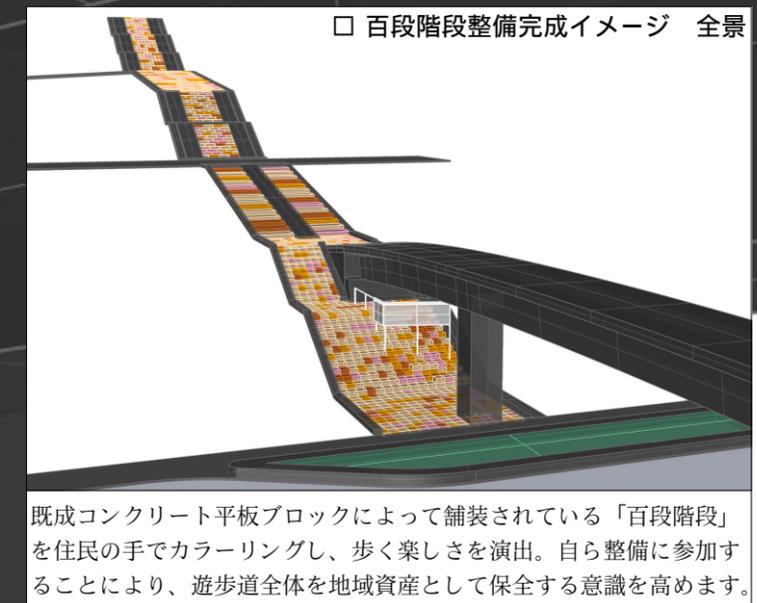
□ 整備地点③ ゲート空間（百段階スタート地点）平面図 S=1:50



□ 舗装部断面詳細図 S=1:30

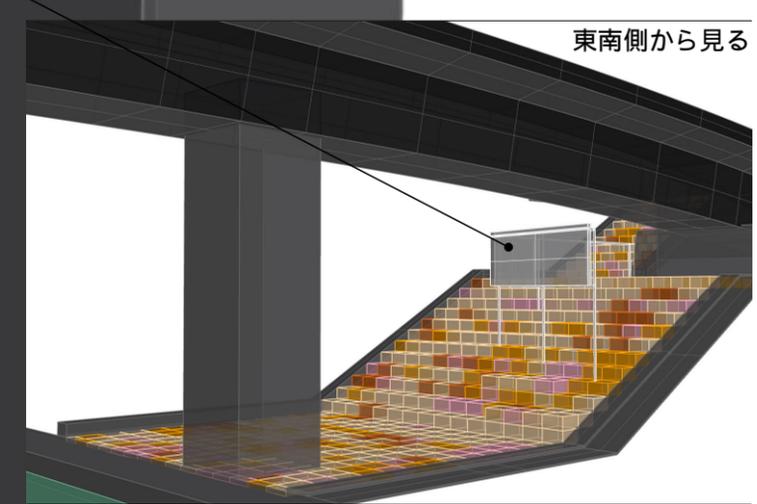


□ 整備地点③ ゲート空間（百段階スタート地点）断面図 S=1:50



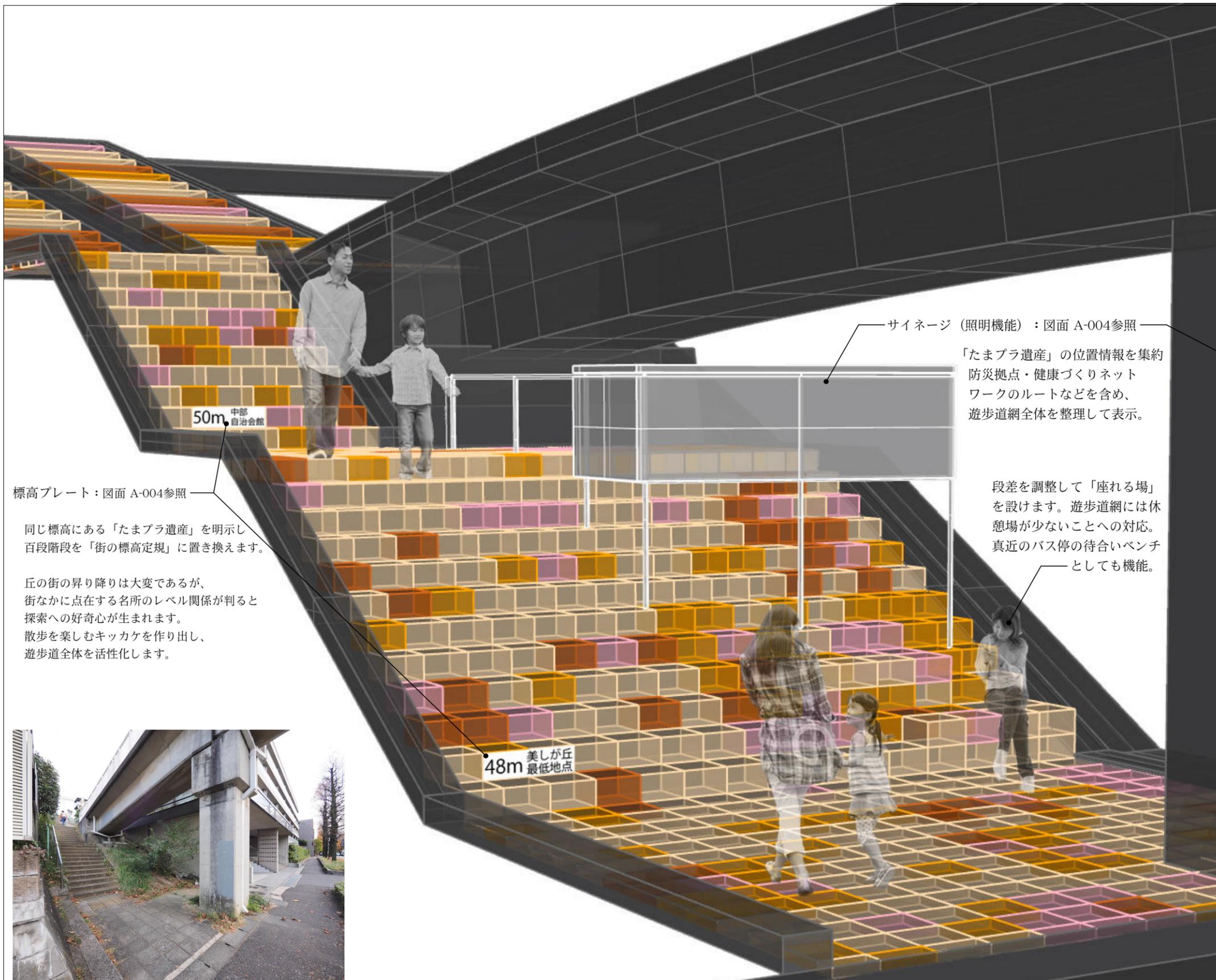
□ 百段階段整備完成イメージ 全景

既成コンクリート平板ブロックによって舗装されている「百段階段」を住民の手でカラーリングし、歩く楽しさを演出。自ら整備に参加することにより、遊歩道全体を地域資産として保全する意識を高めます。



東南側から見る

階段域を拡幅し、視線が抜ける明るい場へと転換します。暗く利用度の低かった階段始点を、新たなゲート空間へと整備。照明も設置し、夜間利用も促します。



サイネージ（照明機能）：図面 A-004参照

「たまプラ遺産」の位置情報を集約
防災拠点・健康づくりネット
ワークのルートなどを含め、
遊歩道網全体を整理して表示。

段差を調整して「座れる場」
を設けます。遊歩道網には休
憩場が少ないことへの対応。
真近のバス停の待合いベンチ
としても機能。

標高プレート：図面 A-004参照

同じ標高にある「たまプラ遺産」を明示し
百段階段を「街の標高定規」に置き換えます。

丘の街の昇り降りは大変であるが、
街なかに点在する名所のレベル関係が判ると
探索への好奇心が生まれます。
散歩を楽しむキッカケを作り出し、
遊歩道全体を活性化します。

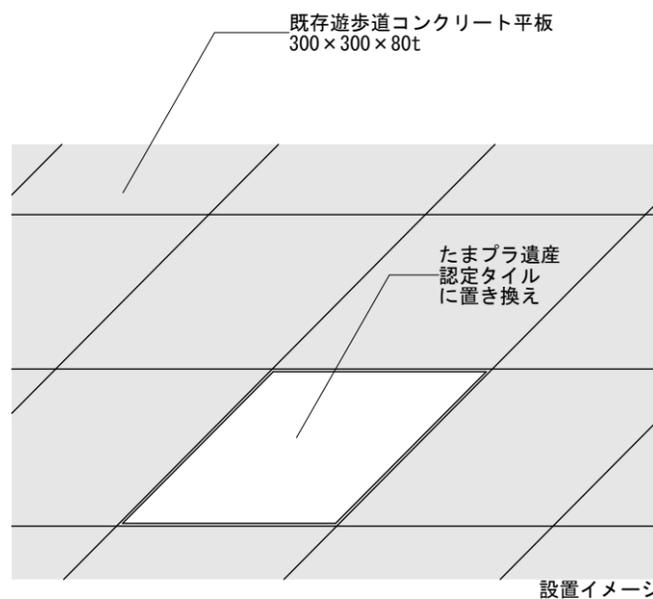


現状：雑草が茂り昼でもうす暗い
健康づくり歩行者ネットワークのスタート地点として
情報マップや簡易休憩機能のある場へと整備します。

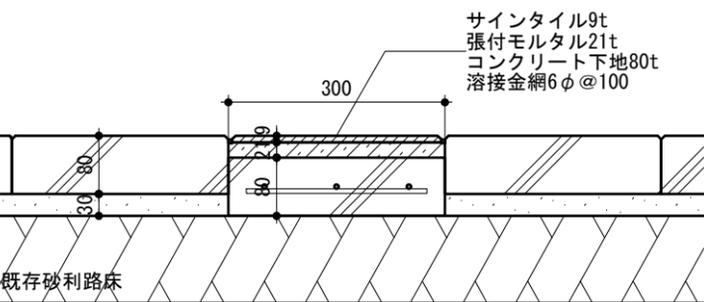
□ ゲート空間（太鼓橋下）整備完成イメージ
階段のカラーリングはランダムな変化を強調したものです。実際の色調とは異なります。

「たまプラ遺産」認定プレート

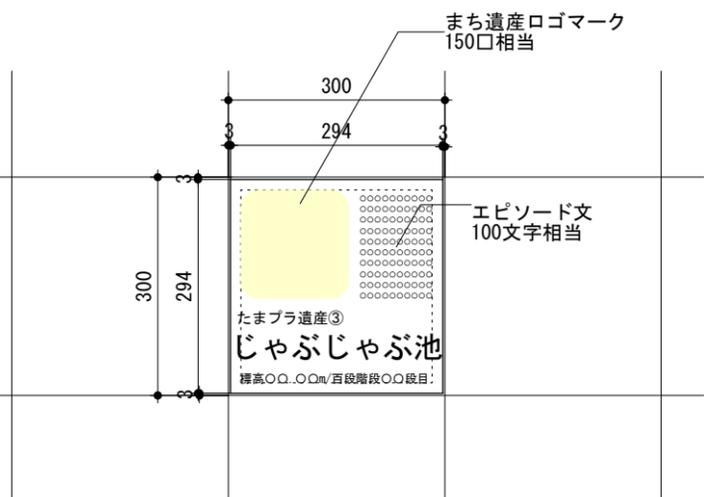
サインプレート仕様
磁器質施釉タイルt9特殊インクジェット印刷 (株) Tchic/OMタイル)
既存遊歩道コンクリート平板撤去の上はめ込み
計10枚



設置イメージ



断面図

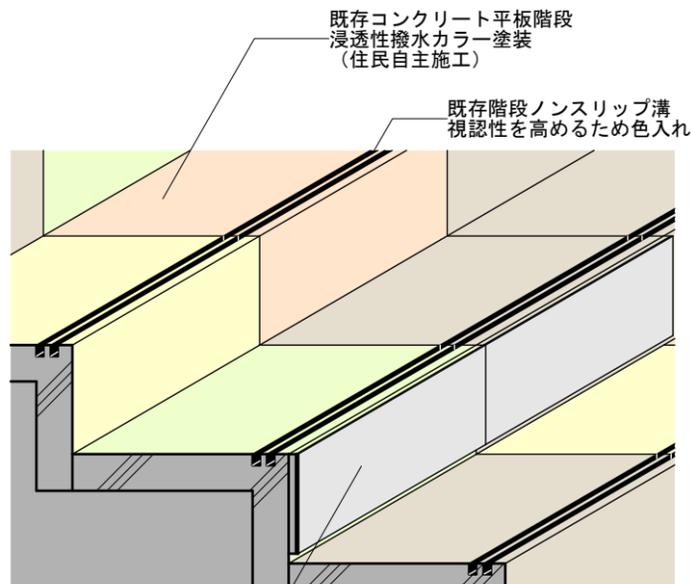


姿図

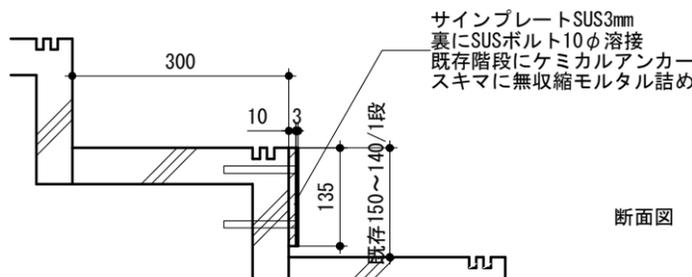
S : 1/10

「標高定規」標高パネル

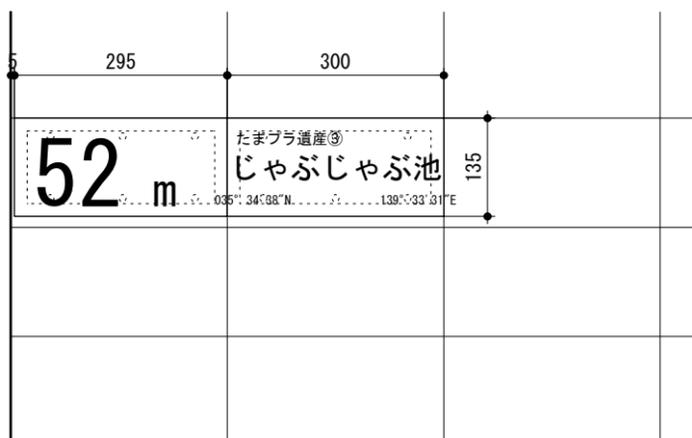
サインプレート仕様
SUS3tHL仕上. 裏面にアンカー用SUSボルト10φ4本溶接
文字エッチングの上墨入れ
標高2mごとに標高表示1枚+まち遺産表示1枚
計20枚



階段ものさしサイン
たまプラ遺産と対応



断面図



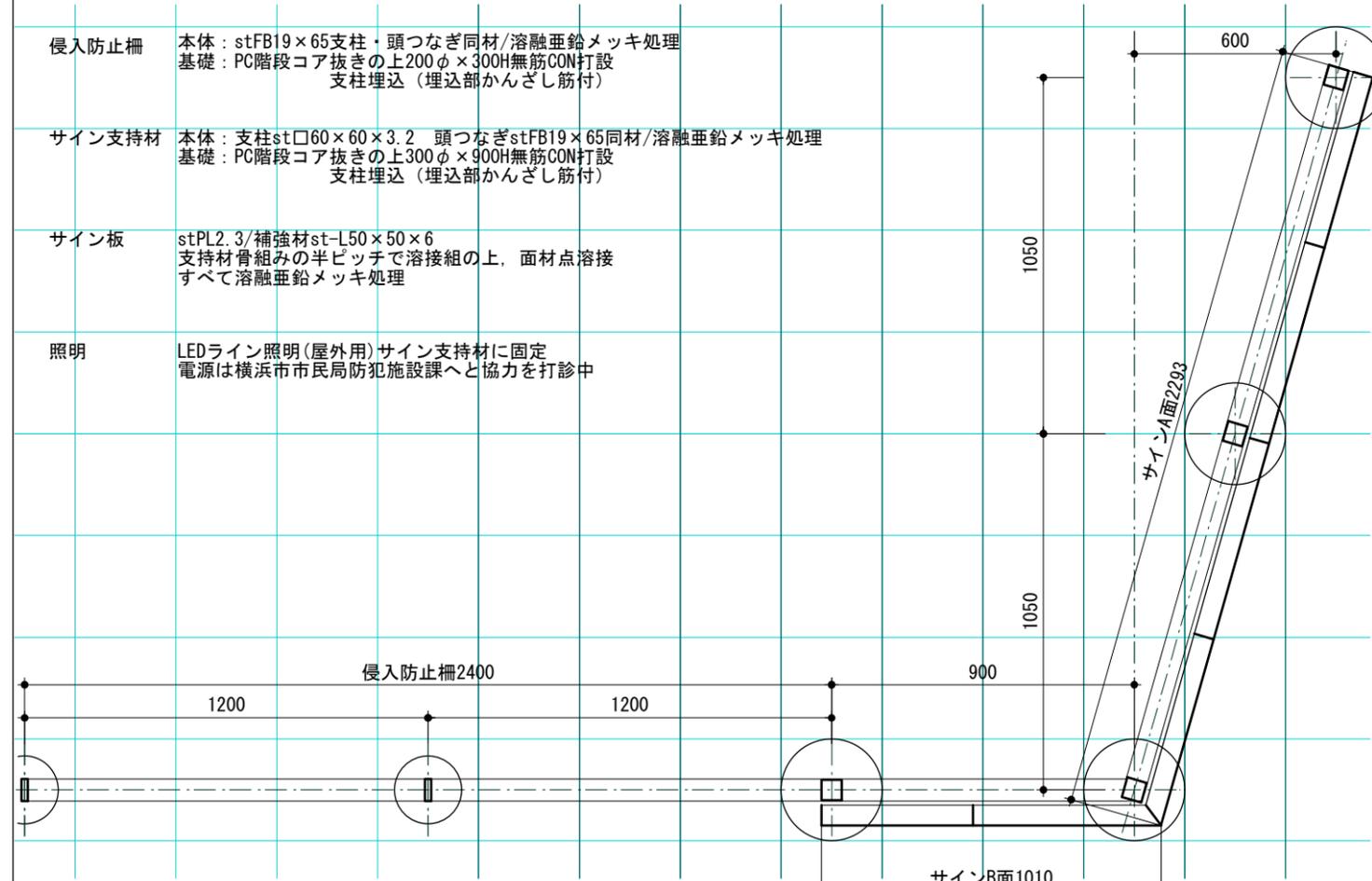
姿図

階段着色仕様
既存平板階段清掃の上コンクリート用ステイン塗料+硬質仕上剤塗布
(アッシュフォードジャパン/アクアカラー+タフコート)
45㎡/缶 (各1) 相当

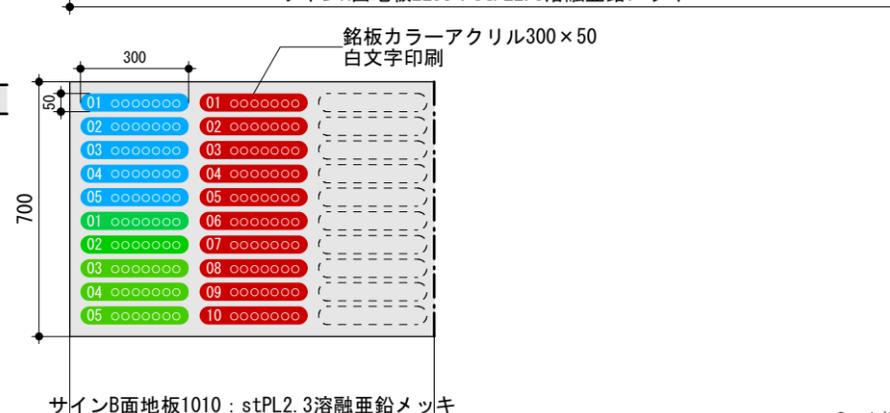
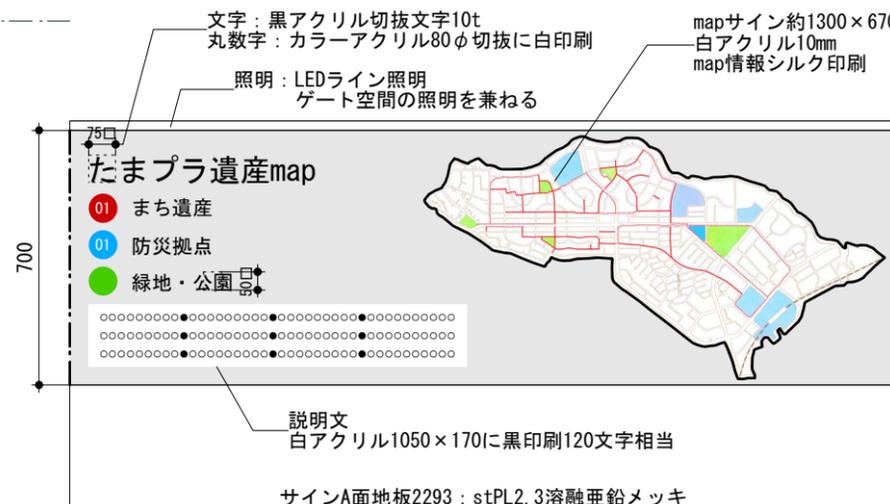
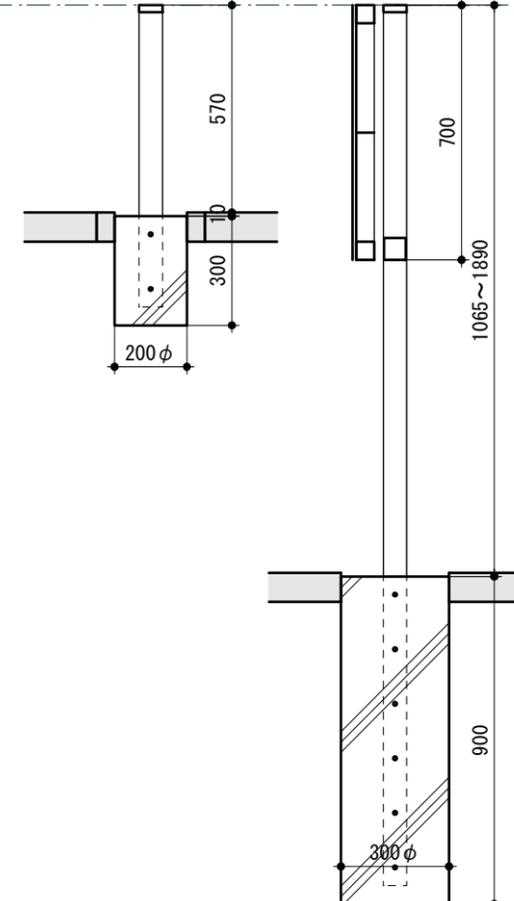
S : 1/10

ゲート空間 サイネージ

侵入防止柵	本体: stFB19×65支柱・頭つなぎ同材/溶融亜鉛メッキ処理 基礎: PC階段コア抜きの上200φ×300H無筋CON打設 支柱埋込(埋込部かんざし筋付)
サイン支持材	本体: 支柱st□60×60×3.2 頭つなぎstFB19×65同材/溶融亜鉛メッキ処理 基礎: PC階段コア抜きの上300φ×900H無筋CON打設 支柱埋込(埋込部かんざし筋付)
サイン板	stPL2.3/補強材st-L50×50×6 支持材骨組みの半ピッチで溶接組の上, 面材点溶接 すべて溶融亜鉛メッキ処理
照明	LEDライン照明(屋外用)サイン支持材に固定 電源は横浜市市民局防犯施設課へと協力を打診中



▼天端レベル揃え



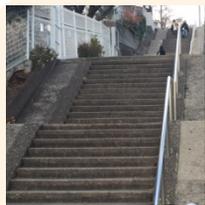
S : 1/20

■「百段階段」を中心とした美しが丘地区遊歩道の整備 提案書（付属添付資料）

【遊歩道ネットワークは美しが丘地区街づくりの最大の特徴】
～世代を超えて守り続けてきた遊歩道を次世代に継承する～

約50年前、本格的な遊歩道ネットワークを持つ住宅地として開発された

→当地区の開発がきっかけとなり道路法上に「歩行者専用道路」ができたが、当地区は「一般道路歩道」の位置づけのままだった



時間が経つにつれて、遊歩道内に車が入ることが増えてきたため、車両通行規制を意図した「遊歩道に面する車庫禁止」を含む建築協定を改定（約32年間運営してきた）

平成15年、地区計画決定の際に遊歩道ネットワークを位置づけ、通行車両を地元でも監視するようになる（アセス委員会発足・遊歩道担当となる）。翌年には沿道権利者全員合意により一般道路指定を廃止して同日歩行者専用道路として再指定した。



約10年前、住民提案による舗装材の更新工事が行われた。その後、下水道管耐震化工事に伴う復旧工事でも同様の仕様整備が行われるようになった。

→予算の範囲内で洗い出し平板をデザイン的に配置するよう働きかけた

法的位置付け等が実現しても... **使われない道路は荒れていくことに「！」気づいた**

→約10年前、アート活動（AOBA+ART）に協力開始

約3年前、青葉区の「健康づくり歩行者ネットワーク事業」地区となる。

→美しが丘連合自治会に検討部会が立ち上がる。2年の検討を経て今年度より整備開始。当時検討しつつも整備項目とならなかったアイデアを軸にまち普請事業に応募することとなった。

【AOBA+ARTの活動、百段階段に着目した意味】

「AOBA+ART」は青葉区のとまプラーザにある美しが丘の住宅街で美術展を開催するグループとして2008年に発足し、横浜の中心部だけでなく、郊外にもその場所ならではの美術展を立ち上げようという横浜市の「横浜アートサイト事業」の一環として、様々なアートプロジェクトを繰り広げられてきた。

2015作品「100段にイロドリを」では、カラフルな階段に思わず走りだす子ども達も…



○2014年から美術家の谷山恭子氏の「街のはなし」シリーズ（緯度経度情報とともに街の歴史をアーカイブする試み）が続けられてきた。地球規模の数値情報とともに自らの居場所を感じる感覚が住民に受け入れられ、今年からは住民主体の活動へと発展。

→「丘の横浜」青葉区の名に因み、美しが丘の「標高」に着目



「みちの名前」を考えるプロジェクトでは遊歩道の名前を考えた



美しが丘中学校で「街のはなし」講義



遊歩道ネットワークは様々な作品展示場所としても利用されてきた

※「百段階段」に着目した理由

活動域のほぼ中心に位置していること、短区間に最低標高から最高標高まで含むため「街の標高定規」となり得ること、美しが丘小学校の通学路で多くの子供たちが利用していること、本当に約百段あるが知られていないこと、などによる。この活動を通じて美しが丘地区の遊歩道ネットワークを代表するシンボルとなり得ると考えている。

【まち歩きイベントの実践と得られた効果・期待】

たまプラ・コネクトの協力：

2014年10月、横浜市と東急電鉄がすすめる次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクトとして認定された「交流の森」と「たまプラnetwork」が合流し「たまプラ・コネクト」として活動を開始しました。「たまプラ・コネクト」は、たまプラザのまちづくりに関心をもつ人やグループをつなぐ組織です。同時に地域の人と人、地域と企業や行政をつなぎ、コミュニティの醸成をめざします。2015年9月、合同会社を設立。ITチームによるキッズ・プロジェクト「親子で遊ぶプログラミング」、企業との協働による地域共助システムのプロトタイプ、また勉強会、レクリエーション、交流会などを企画・展開中です。



シェアカルとは、カルチャーをシェアするためのプラットフォーム。好きなこと、得意なことが、地域の人のためになるという考えで、2016年1月、合同会社たまプラ・コネクトが始めました。弁当のおすそ分け、アジアクッキング、多肉植物の寄せ植え、ポートレート撮影、ピアノレッスン、大人の体操、帽子を編む、洋服づくり、ダンスレッスン、英語教室、アロマレッスン、社会科見学などなど。たまプラザの人たちの多彩なスキルが地域と結びついてきています。そのシェアカルと100段階プロジェクトのコラボ企画が「まち歩きシリーズ」です。建築を語る、トマソンを観測する、まちを撮るなど、専門家ナビゲーターがガイドすることで、いつも歩いていたまちが違う姿を見せてくれます。

まち歩きシリーズ

① 建築を語る

いつものお散歩コースに飽きてしまった地域のみなさん、そして、建築好きのみなさん、あの建築家の小泉さんが田園都市建築家の会の高橋さんと一緒にたまプラザのまちを案内してくれます。このまち歩きは、専門家ナビゲーターを迎えて、シリーズ化していきます。

10月7日(土) 11時
WISE Living Lab集合

一人

1,000円



小泉雅生

名前	名前	名前
お申込みは 藤井本子までメールで mo-hu@ozio.jp		

まち歩きシリーズ

② トマソン観測

いつものお散歩コースに飽きてしまった地域のみなさん、そして、トマソン好きのみなさん、トマソン観測家の伊藤さんが、まち歩きをしながら、たまプラザのまちにあるトマソンをガイドしてくれます。みんなで、トマソンマップをつくりましょう。

11月4日
10時から12時

1,000円



伊藤嘉朗

名前	名前	名前
お申込みは 藤井本子までメールで mo-hu@ozio.jp		

まち歩きシリーズ

③ まちを撮る

いつものお散歩コースに飽きてしまった地域のみなさん、そして、写真好きのみなさん、クボマリさんが、インスタ映えるポイントをガイドしながら、街の風景を撮影するコツを教えてください。このまち歩きは、専門家ナビゲーターを迎えて、シリーズ化していきます。

11月25日
10時から12時

1,000円



久保麻理子

名前	名前	名前
お申込みは 藤井本子までメールで mo-hu@ozio.jp		

1 活動概要

- ・たまプラ・コネクトのシェアカルと共同で「まち歩きシリーズ」を企画、これに先立ち青葉区生涯学習講座の「まち・ひと・散歩」街歩きに協力(主催:まち×とらべる運営委員会 共催:青葉区役所)
- ・周知はFaceBookでの情報提供、3丁目カフェ・地域ケアプラザの掲示など、インターネットと口コミで実施。
- ・この活動を通称「100段階プロジェクト」と呼ぶこととし、活動ロゴを作成。
- ・各回、各テーマに応じたプロフェッショナル案内人が先導してテーマに沿ったまち歩きを行う
- ・スマートフォンを使ったマッピングパーティを導入(協力:コードフォー・ジャパン)
- ・参加費は1000円(講師謝礼実費)、参加者にはアンケート協力を依頼



2 企画テーマと参加者の状況

9/2 まち・ひと・散歩 19名 10/7 ①建築を語る 18名
11/4 ②トマソン観測 17名 11/25 ③まちを撮る 13名
(今後の予定) 12/2 ④リアル街のはなし

3 活動結果

- ・参加者募集や運営方法はシェアカルの既存システムを活用した。案内シートもテンプレート化されており、簡易に企画できることがわかった。
- ・テーマにより各回異なる参加者が地区内外から集まった。「街の魅力が再発見できた」と参加者には好評だった。
- ・参加者間に新たな人材交流が生まれたり、まち歩きの中で庭先に出ている住民との会話なども生まれた。
- ・案内人によって多様なテーマ設定が可能であり、今後とも容易に継続できる実感が得られた。



上記以外に同時期に慶応大学 厳網林研究室(地理情報学)による街歩きも実施/スマホアプリの高度計などの活用により街を楽しむ効果等も確認した/歩きながら道路の整備状況を点検することもできそうだった。

【関係団体・まち歩きイベント参加者アンケート】



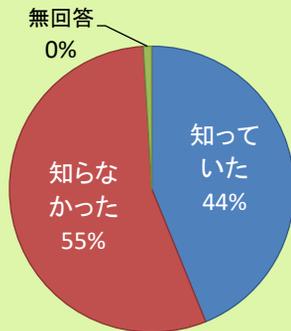
1 実施概要

- ・関係団体への説明やまち歩きイベントなどの機会を通じて参加者を対象に調査
- ・対象活動は9月から11月に開催した説明会など10回(関係団体説明会等5回・PTA2回・まち歩きツアー等3回)を通じて計226名の意見を収集、とりまとめた。

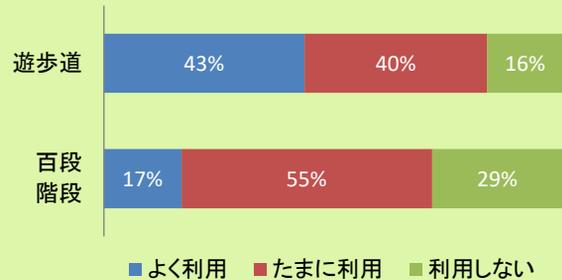
○「健康づくり歩行者ネットワーク」の周知状況は約半数

○遊歩道は地域で利用されているが、百段階段をよく利用する人は限られている

問 美しが丘地区が「健康づくり歩行者ネットワーク」のモデル地区であることを知っていましたか？



問 遊歩道や百段階段を利用しますか？



※百段階段沿道住民：41%/47%/12%

○美しが丘小学校PTAに遊歩道・百段階段の問題点を確認したところ、約半数(44%/47%)の回答者に日頃から心配に思っていることがあった

2 主な自由意見

〈住民の声〉

- ・遊歩道の目地から生えている雑草は手入れが行き届いていない感じがする
- ・階段が痛んでいるところが目立つ
- ・歩道橋下は草取りもされておらず暗いところも多く気になっていた
- ・毎日の生活の中で明るく楽しく使える階段となれば、他も真似したくなると思う
- ・学校として子どもたちが歩く・使うような仕掛け
- ・植生も考える

〈美しが丘小学校PTAの声〉

- ・手すりを滑り降りる子がいる
- ・お友達が落ちてけがをしたと聞いたので心配
- ・駆けおりて車道に飛び出しそう
- ・傾斜が急
- ・防犯カメラを設置して安全性を高めてほしい
- ・遊歩道の途中で休憩スペースがあれば有効に活用できそう
- ・前回のAOBA+ARTが素敵でした
- ・暗くて寂しい遊歩道には植栽などで明るい雰囲気としては？

〈地区外参加者の声〉

- ・きつかったけど眺めがよかった
- ・たまプラは駅前しか知らなかった
- ・関係のない住宅地を歩くのは気が引けるのでこうしたツアーは楽しみ
- ・バリアフリーをどう考える？
- ・気分よくウォーキングできました
- ・また企画してください
- ・「百段階段」をエリアブランドを形成する特徴として活用するのは良い着眼点だと思う
- ・整備すれば歩く人は増えそう

3 アンケート結果からまち普請提案に反映したこと

【主なアンケート意見】

- 「健康づくり歩行者ネットワーク」モデル地区であることを継続的に周知できる施設の整備
- 暗く・危険な百段階段下空間の改善する必要がある
- ◆遊歩道・百段階段の整備計画への提案

【整備提案への反映】

ゲート空間の整備・案内看板の設置に反映

歩いて楽しい道づくり、安全・防犯対策に配慮したデザインへの配慮

【「たまプラ遺産」とは】

美しが丘の人たちが誇りに思い、次世代に残していくべきだと思うもの、たまプラーザ駅北口美しが丘1～3丁目周辺の街を象徴しており美しが丘・たまプラーザらしさが感じられるものが「たまプラ遺産」です。

百段階段の標高タイルで案内する「たまプラ遺産」はワークショップ等で地域の皆様の意見を伺いながら選定します。

「たまプラ遺産」の候補案

- たまプラーザ駅南口オブジェ
- ロケットハウス
- 百段階段
- 美しが丘2丁目ロータリー
- 美しが丘中部自治会館
- 歩行者ネットワーク上の太鼓橋
- じゃぶじゃぶ池

【住民による遊歩道ネットワークの維持管理システム】

○まち歩きイベントなどを通じて街の環境を意識して歩いてもらう

○百段階段や遊歩道の住民整備活動への参加

気づき「！」が生まれる

○修繕箇所や改善点に気付いたら

アセス委員会(下記
のプロジェクトワーキング
グループ)に連絡!

- ・自分たちで対応
- ・修繕してもらうこと
- ・長期的な課題

青葉土木
事務所に
連絡!



※上記システムを地域内の団体や住民に周知することに取り組む

【今後の展開・期待】

○百段階段プロジェクトワーキンググループの組織化

- ・現アセス委員会ワーキンググループを発展的に再編するイメージ
- ・「たまプラ遺産」の継続的な認定制度の基盤づくりを担う
- ・百段階段の取組みを他の遊歩道や階段整備に展開する
→安全対策などのモデルから得られた知見を他施設標準とする
- ・今回整備箇所の維持管理
- ・遊歩道ネットワーク全体の修繕箇所の対応システムの構築
- ・地域内の他団体との調整



○まち歩きツアーの継続的実施

- ・「横浜市健康づくり歩行者ネットワーク」事業の市民への周知徹底
- ・「シェアカル」との共同事業推進
- ・プロフェッショナル案内人の発掘

○次世代まちづくりの担い手への波及効果

- ・小学校PTAなどの親世代の地域まちづくりへの参加
- ・小中学生の子どもたちへのふるさと意識の醸成
- ・美しが丘小学校創立50周年記念事業への協力